

講義名	対)公民科教育法【教職科目】		
担当教員	水田 聖一		
開講期・曜日・時限	通年 水曜日 1時限	授業形態	講義
履修開始年次	3年生	単位数	4
備考			

主題と概要

高校公民科（「現代社会」「倫理」「政治・経済」の科目）の基本的性格に関する内容を、我が国向け教育問題等の社会的背景、社会科関連教科の歴史と教育課程を講義する。その講義内容を踏まえて自身が公民科の「現代社会」「倫理」「政治・経済」の授業設計に関する課題を遂行する。さらに、その課題についての発表と代表者による模擬授業を実施する。また、それらの発表と模擬授業の結果を相互に評価し、最終的に自身の学習指導案を設計する。なお、2022年から実施される「公共」の科目の性格に関する理解も図る。

到達目標

高校公民科における教科目標と科目編成を踏まえて「現代社会」「倫理」「政治・経済」の目標、内容構成、授業実践について理解し、説明できるようにする。
 高校公民科（「現代社会」「倫理」「政治・経済」の科目）の授業設計と授業実践の能力を形成できるようにする。
 高校公民科（「現代社会」「倫理」「政治・経済」の科目）の授業設計の技法として教科書内容の解釈方法を習得できるようにする。
 高校公民科（「現代社会」「倫理」「政治・経済」の科目）の授業実践の導入・展開・整理の教授技法を習得できるようにする。

提出課題

高校公民科（「現代社会」「倫理」「政治・経済」の科目）の教科書のレポート。
 高校公民科（「現代社会」「倫理」「政治・経済」の科目）の教科書の内容に基づく学習指導案
 テキストの内容をパワーポイントを用いて要約し、プレゼンを行ってもらう。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

プレゼン終了後、コメント並びに改善点の指導を行う。

評価の基準

授業への積極的参加態度40%
 授業内の課題としてのレポートと学習指導案作成30%
 最終課題レポート30%

履修にあたっての注意・助言他

高等学校公民科の教科書を購入すること。
 模擬授業では、学習指導案を授業実践に基づいて検証する意味を理解すること。
 教師の基本的専門能力は授業設計と授業実践であることを理解すること。
 授業は欠かさず出席すること。

教科書				
.教育実習生のための学習指導案作成教本 社会地歴公民科.	教育実習を考える会	首丘書林	1200	9784915442834
.高等学校「現代社会」.		東京書籍		

プリント資料及び参考文献

授業に使用する教材としてのプリント資料は、適宜配布する。

授業計画

第1回：教育問題の諸相と授業実践の課題
 第2回：学校教育における社会科関連教科の歴史
 第3回：学校教育における社会科関連教科の編成
 第4回：公民科教育の目的と科目編成
 第5回：公民科の目標とカリキュラム編成
 第6回：公民科の授業実践
 第7回：公民科の目的と学習指導案
 第8回：「現代社会」の目標と内容編成
 第9回：「現代社会」の教材内容
 第10回：「現代社会」の指導方法
 第11回：「倫理」の目標と内容編成
 第12回：「倫理」の教材内容
 第13回：「倫理」の指導方法
 第14回：「政治・経済」の目標と内容編成
 第15回：「政治・経済」の教材内容
 第16回：「政治・経済」の指導方法
 第17回：公民科「現代社会」の教材研究
 第18回：公民科「現代社会」の授業設計
 第19回：公民科「倫理」の教材研究
 第20回：公民科「倫理」の授業設計
 第21回：公民科「政治・経済」の教材研究
 第22回：公民科「政治・経済」の授業設計
 第23回：公民科「現代社会」の授業設計に基づく模擬実践
 第24回：公民科「現代社会」の授業設計に基づく模擬実践の評価
 第25回：公民科「倫理」の授業設計に基づく模擬実践
 第26回：公民科「倫理」の授業設計に基づく模擬実践の評価
 第27回：公民科「政治・経済」の授業設計に基づく模擬実践
 第28回：公民科「政治・経済」の授業設計に基づく模擬実践の評価
 第29回：公民科の改善学習指導案の設計と教材開発
 第30回：公民科の改善学習指導案の設計と教材開発

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習として、高校公民科（「現代社会」「倫理」「政治・経済」の科目）の教科書の関連内容を理解すること
 高校公民科（「現代社会」「倫理」「政治・経済」の科目）の教科書の内容に基づく学習指導案を作成すること。
 復習として、高校公民科（「現代社会」「倫理」「政治・経済」の科目）の教科書の関連内容を整理すること。
 上記の準備・学習のために4時間程度の学習を要する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

商学部マーケティング学科では、企業環境をマーケティングの視点で捉え、現状を改善する努力を継続することができる学生を育てます。
 本授業でも、自ら考え、自ら判断し、主体的に行動することが重要である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

パソコン、パワーポイント、ビッグパッドを利用したプレゼンテーションを行ってもらう。

実務経験の有無及び活用

備考

教育実習を実施する前には実習校に事前に訪問すること。